



たかまつだより No.66

令和7年3月1日 発行・編集：高松地区まちづくり委員会広報記録部会・高松公民館



- 【幼児の部】
 - 一位 小池 烈雄さん
 - 二位 保立 あかりさん
 - 三位 山中 玲弥さん
- 【低学年の部】
 - 一位 栗林 未怜さん
 - 二位 橋本 葵さん
 - 三位 樋口 瑛大さん
- 【高学年の部】
 - 一位 嶋田 透土さん
 - 二位 輪湖 美咲さん
 - 三位 中根 和音さん
- 【シニア・一般の部】
 - 一位 若林 司さん
 - 二位 橋本 せつじさん
 - 三位 前田 竜甫さん

新春高松かるた大会

令和七年一月十一日(土)
今年も新春高松かるた大会が、幼児からシニアまで、八十名が参加して賑やかに開催されました。梅し泣きする子どもが出るほどの熱戦が繰り広げられるかるたを取る速さが年々早くなっているように思います。独特の絵札なのによく覚え、素早く取っていると感心しました。

高松かるたは、変わりゆく郷土の伝統と歴史を残そうと、当時の「老人大学」の方々や職員が一生懸命作ったものです。少しでもその方々を知っている私は「つながっている」と嬉しく思いました。

(駒田記者)



高松着付けクラブ



会員募集のお知らせ

健康太極はまゆう

《日 時》毎週土曜日 13:30~15:30

《会 費》無料

《問合せ》打田 啓次 ☎ 82-0290



腹式呼吸で代謝向上！
体幹強化で基礎体力向上！

絵てがみ教室 木もれび

《日 時》毎月第2火曜日10:00~12:00

《会 費》500円
(材料費含む)

《問合せ》丸井 よし江
(講師)

☎ 090-2052-2344



料理クラブ松味会

《日 時》毎月第3木曜日 9:30~13:00

《会 費》1000円程度(材料費含む)

《問合せ》田川 美代子(代表)

☎ 0479-46-0671



楽しくクッキング
しませんか？

広報紙「たかまつだより」 発行へのご協賛募集

「たかまつだより」は高松地区まちづくり委員会
が作成し、年間活動のほか、高松幼稚園や高松小中
学校等での子どもたちの様子、地域で活躍される個人
や団体等の紹介など、地域の魅力をお伝えするた
めに、年4回程度発行している広報紙です。

この広報活動の充実を図るため、皆様からの協賛
を募集いたします。

たかまつだより
○発行：年4回(5月、9月、12月、3月)
○配布枚数：1,500枚(高松小中学校区配布)

募集内容
○発行1回ごとのご協賛
○募集期間…随時
○発行1回あたり…7,000円
※広報紙面に協賛広告(たて46mm×よこ85mm)掲載
○その他、公共の福祉に反する内容などの場合、鹿嶋市
の広報広告掲載基準により協賛を受けられない場合が
あります。詳しくは公民館までお問合せください。

☎ 83-0841 (高松公民館)

鹿嶋市善行賞
一月二十六日(日)
令和六年度「市民・団体
表彰式」が行われました。
高松地区からは、長年
にわたり高松公民館の事
業に尽力いただいている、
高本光祐委員長と宮崎
直子副委員長が表彰さ
れました。

これからもよろしく
お願いします。

高本委員長
宮崎副委員長

【編集後記】
早いもので今年度最後の発
行となりました。なにぶん至
らないところがあったかと思
いますが、1年間ありがとうございました。
来年度も皆さ
んに喜んでいただける「たか
まつだより」をお届けでき
よう頑張りますので、よろ
しくお願いします。

次号は5月発行ですので、
楽しみにしてください。
野口裕

〇月△日☆曜日

日直

高松げんき
イタッけんき

12/12 茨城県「花いっぱい運動」に認定!



昨年6月から、地域づくり部主体で高松小中学校スクールゾーンそばで、花壇づくりを始めました。12月、チャレンジいばらき県民運動「花いっぱい運動定着化促進事業」に認定されました。地域の皆さんの心が明るくなり、



元気な高松地区になるよう、日々の管理を行っています。



12/15お話し会とクリスマス会



手作りキャンドル

前半は「てぶくろの会」のみなさんによるクリスマスの楽しい読み聞かせ、後半は手でこねて簡単に作れる「クリスマスキャンドル」をみんなで作りました。



12/4 ポッチャ大会

三世代が交流するポッチャ大会は、約60人の参加があり、白熱した試合が繰り広げられました。上位に入ったチームは「入賞できると思っていなかったので、びっくりしています。市の大会でも頑張っています。」と喜びを語っていました。



優勝は泉川チームでした!

2月1日(土)鹿嶋市のポッチャ大会へ高松地区代表として4チームが参加し大健闘でした! お疲れさまでした。

2/8 おもしろ理科先生



Dr.ナダレンジャー



ビニールの筒の中には、発泡スチロールのビーズが入っていて、なだれが迫ってくる様子が体感できるのよ。



ナダレンコ

地域の宝発見!

令和六年十一月二十三日 佐田地区にある加茂神社の祭事に地区の組長として参列しました。普段は閉じてある扉を開け、供物を並べ、鹿島神宮の神主さんの祝詞のあと参列者が順番に神を上げてお参りしました。とても貴重な体験をさせて頂きました。神主さんから、加茂神社にまつわる、貴重なお話をいただいたので、記載しました。

〜加茂神社略記〜



創祀 「茨城県神社誌」「鹿島郡郷土史」「鹿島町史」他を調べても神社の始まり、創祀についての記載は残念ながらありません。加茂神社のお礼には、三田五ヶ郷の総鎮守とあり、以前は佐田・木滝・下埜・谷原・根三田を佐田郷と称したそうです。以前、郷と呼ばれたのは、佐田と粟生の二ヶ郷のみと伺っており佐田と粟生の区長には格別の権威が有ったと古老に聞いたことがありますが、言わば格別の地であった佐田には伊勢の神宮につぐ、二十二社の筆頭である格別な上賀茂神社の御祭神(加茂別雷命)を奉斎したものと思われれます。京都府鎮座賀茂別雷神社は、旧菅幣大社・山城の国一ノ宮 創祀 崇神天皇の御代 約二〇〇〇〜二一〇〇年前

佐田には加茂神社、両神神社、国神神社、八幡神社、大六天神社、弁財天社、富士神社の七社の神社が奉斎されており、氏子の方は、佐田七社と呼んでいます。

国神神社のご神体は、石枕であり石枕が古墳時代(今から約一八〇〇年前〜約一三〇〇年前)のものであることを考えれば、国神神社の祭祀は、古墳時代に遡ることも考えられ、佐田が古くから人々が暮らしてきた土地であることがわかります。



自然体験学習 in 猪苗代 1学年



一月二十六日(日)～二十八日(火)三日間の自然体験学習(スキー学習)が行われました。東北地方を中心に、今年は雪が多いとのことでしたので、滑走しやすいゲレンデでした。

一日目は、天気に恵まれ、気持ちの良い空気の中、初めてスキーを行う生徒も、転び方や起き上がり方、方向転換など、寒さや視界を気にすることなくベストコンディションの中で活動することが出来たようです。

二日目は曇り。リフトに乗り斜面を滑る練習をしました。練習を重ねていくうちにリフトの乗り降りやならかな斜面を滑ることに慣れてきました。また、食事も充実しており、よく食べよく運動し、友情も深めつつ夜はぐっすり眠る生徒たちでした。



三日目も天気に恵まれ、スキー初心者の生徒も、斜面の上から一人で滑り降りる姿が見られました。

三日間の学習を通して自然の厳しさや偉大さの中で、野外スポーツの魅力に触れ、友と良き思い出をつくる事が出来た自然体験学習でした。

(一学年担当)

高松中学校

高松小学校

12/3 持久走大会



12/20 地域ふれあい活動



12/4~10 茨城県ミュージアムパーク「移動博物館」がやってきた!!



まっさきさん

「こんな大人になりたい」～ 卒業をむかえる6年生の思い ～

- 必要とされる人になりたい ● 誰でも大切にできる人になりたい ● 家族を大切にできる人になりたい
- 仲間を大切にできるバスケット選手になりたい ● 素敵な大人になりたい ● 信頼される大人になりたい
- 周りをよく見る大人になりたい ● 電車とかでおばあちゃんとかに席をゆずれる人になりたい
- 尊敬される親切な大人になりたい ● みんなに憧れられるような人になりたい
- 親切な大人になりたい ● やさしい人になりたい
- 河村選手みたいな人になりたいです。そして、家族を大切にしたいです。
- 優しく、みんなの頼りになる大人になりたい
- 信用されるような大人になりたい
- 夢を追いかける人になりたい
- 人を大切にできる人になりたい ● お母さんみたいな、やさしい人になりたい ● 尊敬される人になりたい
- 美容師になりたい。誰にでも優しく、信頼される大人になりたい ● 誰にでも優しくできる大人になりたい
- 小学校の先生になりたい ● たくさんの人から必要とされる人になりたい ● 応援される人になりたい
- 色々な人から信頼されるような人になりたい ● 友情を大切にしたい ● 信頼される人になりたい
- 努力し続ける、チャレンジする大人になりたい ● 家族や友達を大切にしたい ● 頼りにされる人になりたい
- サッカーが上手い人になりたい

ご卒業おめでとうございます

卒業

これまでの学校生活を振り返ってみると、社会教育の視点において公民館からご協力いただいた学びの場による経験をはじめ、校内における様々な活動や行事を通して3年生は大きく成長しました。総合体育大会や陸上競技大会をはじめ、公民館や地域の方を交えて行われた飛翔祭でも、それぞれの力を発揮してきました。また、小中合同の入学式や文化祭を成功に導いてきました。それぞれ、沢山の思い出をもって卒業していくことと思います。

今日までお力添えをいただき、ありがとうございました。引き続き、未来を担う子どもたちを宜しくお願いします。

(三学年担当)



Congratulations on your graduation!

たかまつびと No.11

今回の「たかまつびと」は、高松中学校の志藤幸也教頭先生をご紹介します。

Q: 高松小学校の教務主任を5年、高松中学校の教頭を3年務められて、まさしく「たかまつびと」ですが、初めて高松に赴任された時の印象はどうか？

A: 皆さん親切でとてもアットホームで、昔の「高松村」のような地域が一体となって学校を支えているという印象でした。25年間中学校の教師をやっている、高松が初めての小学校だったので不安だったんですが、PTAの方々や、公民館の方々が気軽に学校に来てくださったり、温かく受け入れてくださいました。前任の方に、ここは地域があるの学校だから地域の行事やイベントに参加して、話をしたほうが良いと聞いていたので、初めから積極的に参加するようにしました。

Q: 小中一貫校設立に携わった中で、良かったことや苦労したことは？

A: 良かったことは、地域・小学校・中学校がすべて繋がって教育でき、みんなで子ども達の成長を見守ることが出来るということです。それと、平成30年度から小中一貫がスタートしましたが、平成28年度に保護者の皆様にアンケートを実施し、英語教育に力を入れてほしいという意見が多かったので、英語を柱に進めていった結果、英語を使う力が付き、成績が良くなったところです。苦労したところは、中学校と小学校の先生が行き来して授業をするための調整が大変でした。はじめは先生たちも戸惑っていました。



Q: 公民館の事業にご協力いただいておりますが、参加して思い出に残ったことは？

A: 高松まつりの早朝に平井海岸までゴミ拾いをしながら歩く「早朝ハイキング」が1番印象に残っています。それと、夏まつりと秋の高松まつりで8年間フランクフルトを焼き続けたことです。(笑)

Q: 高松の子どもたちに思うことは？

A: 今年度から、高松まつりの模擬店で中学生のブースを任せられ参加したように、これからも子ども達が、どんどん地域の事業に参加し「自分たちが地域を作っているんだ」という意識を育てていけたらと思っています。地域のために何が出来るか考えて生活してほしいです。

高松には感謝しかありません。こんなに長く同じ地域にいたのは初めてで、地域が私を育ててくれたという感じます。

Q: こちらこそ感謝です。これからも高松地区をよろしく願います。

12月4日(水) 子ども劇場

たくさんの保護者の皆様に守られ、園児たちは合唱、合奏、劇や遊戯を元気よく発表しました。堂々と歌ったり、カー杯演じきったりの後の園児たちの表情は、自信に満ちあふれていました。休憩では年長組が保護者へインタビューし、保護者からの言葉に照れながらも嬉しそうでした。

園児たち一人一人が大きな拍手にやりきった喜びや達成感を味わい、忘れられない思い出となりました。



たかまつようちえん

12月19日(木) 餅つき会

前日に年長組がもち米を洗い準備をしました。当日園児たちは、朝からねじり鉢巻きでやる気満々。昔ながらの杵と臼でペタンペタンと学級毎に餅をつきました。「ヨイショ」「ヨイショ」と応援の声に後押しされ、あっという間に餅のできあがり。その後、各学級で鏡餅を作り、飾りました。日本の伝統文化に触れた一日となりました。



年長組10名が卒園します。巧からは1年生、幼稚園での思い出を胸にそれぞれの場所で、個性を活かして頑張ってくださいと思います。(担任より)

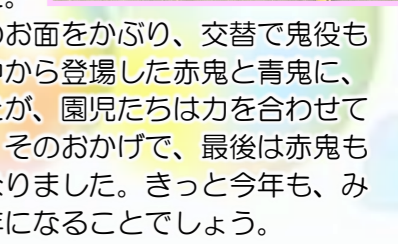
1月23日(木) お茶っこ会

粟生のお茶っこ会に招かれ、年長組と年中組が参加しました。地域の皆さんが温かく見守ってくださる中、年中組は「ドラえもん」年長組は「南中ソーラン」を披露しました。元気いっぱい踊った後は、地域の方の肩たたきを行いました。緊張しながらも、地域の方の「ありがとう」「気持ちよかったよ」の言葉に、嬉しそうでした。帰途に就く園児たちの表情は満足げで、貴重な体験になったことが伝わってきました。粟生地区の皆様ありがとうございました。



2月3日(月) 豆まき

「鬼は外！福は内！」寒さに負けず、元気よく豆まきをしました。自分達で作った鬼のお面をかぶり、交替で鬼役も楽しみました。途中から登場した赤鬼と青鬼に、怖がる子もいましたが、園児たちは力を合わせて鬼を退治しました。そのおかげで、最後は赤鬼も青鬼も優しい鬼になりました。きっと今年も、みんなが健康で良い年になることでしょう。



祝 二十歳の集い

それぞれの夢を乗せて



二十歳の集い、ありがとうございました。二十歳の集いでは、久しぶりに会えた同級生や先生方とお話できてとても楽しかったです。さらに、お互いの現状とか目標を話すこともできて、二十歳になったことを改めて実感しました。自分の夢も、みんなの夢も叶うといいなと思いました。みんなが泣いていたら私が笑わせよう！



松本 菜央

二十歳の集いお疲れさまでした！久しぶりに会えたみんなの笑顔を見て、懐かしさと嬉しさで胸が熱くなりました。これからそれぞれ違う未来へ向かって歩んでいきますが、どんな時も今日のこの瞬間を思い出して頑張りたいと思います。みんなのこれからも素晴らしいものになりますように！



森田 蓮武